

三心を磨く

学校だより NO. 29
平成30年 9月11日(火) 発行
須坂市立東中学校
文責：金井 勝久 (教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

「ベネッセ総合学力調査」の結果より

須坂市の全小・中学校で行われました「ベネッセ総合学力調査」(本校では4月9日に実施)の結果が公表されました。今後の教育活動に役立てるため、本校の結果を分析いたしましたので、その概要をお知らせいたします。尚、この調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり総合的な学力を示すものではありません。

◇ベネッセ総合学力調査〈教科に関する調査結果の概要〉

【須坂市中学校の平均との比較】…3学年については「No.28」の全国学力・学習調査結果の報告に代えます。

【凡例】 ・上回る … +3.0以上 ・やや上回る … +1.0以上 ~ +3.0未満
・下回る … -3.0以上 ・やや下回る … -1.0以上 ~ -3.0未満 ・同程度 … 0.0 ~ ±1.0未満

	国語	数学	英語	社会	理科
1学年	上回る	上回る		上回る	上回る
2学年	同程度	やや下回る	下回る	同程度	下回る
昨年との比較	↑1.0	↓0.5		↑1.3	↓4.3

◇ベネッセ総合学力調査 〈意識調査平均スコア〉

【中1】意識調査平均スコア (%)

	学びの基礎力	社会的実践力	学級力	家庭学習力
本校1学年	70.5	66.2	72.7	72.4
須坂市	70.5	68.4	73.2	76.7
差	±0	-2.2	-0.5	-4.3

【中2】意識調査平均スコア (%)

	学びの基礎力	社会的実践力	学級力	家庭学習力
本校2学年	66.2	63.2	69.9	65.7
須坂市	67.8	65.1	68.2	68.1
差	-1.6	-1.9	+1.7	-2.4

【考察】

1学年の教科に関する調査では、すべての教科(英語は今回実施していません)で須坂市内中学校の平均との比較を「大きく上回ること」ができました。これまでの学習が定着し、大変よいスタートが切れたように思います。この流れを大切に、学力の向上・さらなる高見をめざしてまいります。

しかし、「学習に対する意識調査」の結果をみると、「家庭学習力」の弱さが見えてきました。学期や学年が進むにつれて学習内容が増えてきます。日々の復習は必然であり、「宿題」プラス「復習の時間が」が必要となります。よって、家庭学習の時間を確実に作り、学習をしてほしいところです。学校でも引き続き指導をしますが、ご家庭でも家庭学習の大切さを伝え、見届けてください。

2学年の教科に関する調査では、国語と社会が「同程度」であり、数学と理科で「やや下回る」、英語が「下回る」結果となりました。平成29年度の調査に比べると、改善の兆しが見られていますが、まだまだ足りません。改善の兆しを追い風に、さらなる授業改善を進め、家庭学習の充実を図ります。また、「学習に対する意識調査」では、「学習に向かう力が低い」という結果も出ています。1学年と同様に「家庭学習力」が弱く、「学びの基礎力」「実践力」なども弱いという結果が出ました。

そこで教科指導では、「わからないことがわからない」「わからないことをそのままにしている」生徒に対して、「授業中のTT指導の充実」と「きめ細かな支援」、「宿題をやっけない生徒に対する放課後指導の充実」など、これまで以上に力を入れてまいります。

さらに2学年の課題は、「その日の授業で取り組んだことを、その日のうちに復習する」ことです。英語や数学の学習は、毎日の積み重ねが得点として顕著に表れます。家庭学習の時間を確実に位置づけ、1学年は1日「最低1時間」、2学年は「最低1.5時間」、3学年は「最低2時間」の学習時間をめざし、クリアしてほしいと願うところです。

また、本校の課題として今回の調査で見えてきたことは、「学力の二極化」です。生徒たちの得点分布スコアをみると「2コブ」の形となっています。着実に学習をして理解を深め、得点を伸ばしている層と、学習が不足し基礎的・基本的な内容が定着していない層とはっきり分かれてきています。重要課題です。

さらに学習の基礎・基本の定着力を調査した「学びの基礎力」については、1学年は同等であり、2学年がやや下回っているという結果となりました。やはり

これも「家庭学習」に通じるところがあります。家庭学習の時間を位置づけ、課題を確実にやりきる指導をしていきたいと思えます。

「社会的実践力」とは、学習したことを日常生活に活かすことや社会情勢に目が向いているか、具体的に行動ができているかなどについての力についての項目です。主に問題解決力や社会への参画、豊かな心について問われました。1・2学年共に、「やや下回る」結果でした。ニュースや新聞を見たり読んだりすること、それらについて自分の考えをもつことなどが問われたのですが、まだまだ不足のようです。本校が取り組んでいる「斜面ノート」は、まさにこの課題を解決する1つのアプローチです。丸暗記の学習だけでなく、活用力を伸ばしてまいります。

「学級力」とは、クラスの団結心や物事をやり遂げようとする力、集団生活での自主・自立などについての力です。これについては、2学年は「やや上回る」であり、1学年は「やや下回る」となりました。2年生は、少しずつクラスとしての団結や協力する姿が生まれはじめています。さらに伸ばしてまいります。1学年はクラスとしてはこれからです。仲間作りを中心に団結を図ります。

全体を通して、学校としてはこの事実をしっかりと受け止め、全職員が共通の課題、意識として今後の指導に生かしてまいります。具体的には、これまでの取り組みから成果が明らかとなっている「ICTを活用した協同的な学び」をさらに深め、進めていくこと、これまで通り日課を工夫しながら「家庭学習の日」「補習の日」「プレテスト」などを実施し、個別指導を通して理解の不十分な生徒へ指導すること、「読む・書く・まとめる」力が確実につく「斜面ノート」への取組などを、確実に進めてまいります。

最後に、前回(No.28号)の学校だよりでもお願いいたしました。ご家庭でも「家庭学習時間の確保」「家庭での規律ある生活」についてご指導ください。学力の向上には、家庭学習の充実が不可欠です。引き続きご家庭でもご指導お願いいたします。

